

2位

扎拉根吉（ジャラガムジ）モンゴル

サム教育学院

日本に留学している私

みなさん、こんにちは。

日本に来て一年になりました。日本は文化も技術も発達した先進国です。私が日本に来た目的は、その先進的な技術を学び、身につけることです。

私は内モンゴルから来たモンゴル人です。日本でたくさんのモンゴル人が生活しています。私もその中の一人です。外国に行って勉強するのは、人生の中でとてもいい機会です。それを大切にしたいと思っています。

毎年、日本にいるモンゴル人がいろいろなお祭りを行っています。私もそのお祭りに何回も参加した事があります。お祭りでは、モンゴルの芸術をはじめ、モンゴルの相撲、民族衣装、食べ物などを見てもらったり、味わってもらったりしています。それを見ると、私は故郷にいるような気持ちになります。

このようなお祭りは、日本で生活するだけじゃなくて、国を離れてもモンゴルの文化を研究したり、モンゴルの文化を知ってもらいたいと、先輩たちが頑張って開いているということ、あとで知りました。

しかし、日本に来て毎日さぼって無駄に生活しているモンゴル人もいます。この人たちを見てとても失望したことがあります。内モンゴルでは留学したいと思っても留学できなくて悩んでいる人もたくさんいます。それを考えるとすごく悲しくなります。

ところで、最近、内モンゴルの草原がすごく悪くなっています。子どもころ、家の近くの川でよく泳いだり、馬に乗って遊んだりしたものです。しかし、今は泳ぐ川も、馬に乗って走る草原もなくなりつつあります。こころが痛くなります。

現在、内モンゴルに行って木を植えている日本人がたくさんいます。例えば、増田達志さんは1992年から、大瀧隆司さんは1997年から木を植える運動をしています。こういう外国の人々が、内モンゴルの草原のために一生懸命に頑張っているのに、どうしてモンゴル人はこういうことをしないのでしょうか。残念な気持ちでいっぱいです。

私は、日本の大学に進学して、映画監督になるために勉強をしたいと考えています。モンゴル人の生活の中には、たくさんの物語や生活するうえでの素晴らしい習慣があります。私は将来、映画をつくって、それらを外国人の皆さんに紹介していきたいと思っています。これからも、その目標に向かって頑張っていきます。

モンゴルにはこのような詩があります。(モンゴル語で) この詩の意味は、「生まれてから習ってきた母語、忘れてはいけない文化、死ぬまで生きていくところ、離れてはいけない場所、それはモンゴルの美しい故郷」という意味です。

ご清聴、ありがとうございました。